



但馬國分寺跡

史跡 但馬國分寺跡  
（ししきまこくぶんじあて）  
平城二年十月十六日（西暦七二四年）に、聖武天皇が「延暦寺」を創設し、日本全国の僧尼を統括する「僧尼令」を頒布した。これにより、各地に「国分寺」と「国分尼寺」が建てられ、僧尼の修行の場となった。但馬国分寺跡は、その遺跡として知られる。跡地には、石造の礎石や土壇の残骸が見られる。また、寺域の範囲を示す石碑も設置されている。この寺は、但馬地方の歴史を語る重要な場所である。

但馬国分寺跡の概要  
1. 礎石の位置  
2. 土壇の位置  
3. 石碑の位置  
4. 寺域の範囲  
5. 遺跡の状況  
6. その他

塔跡 礎石